

Boys, be ambitious!
あらたな一歩を踏み出そう！

2024 秋号 vol.37

甲府一高通信

REIWA

R6 No.2

FiRST STEP

Kofu First High School

甲府第一高等学校
強行遠足 10/5～10/8

男子最終地点(懐古園三ノ門)
小諸検印所(男子104.0km)〈標高667m〉

◎三岡検印所(男子99.8km)〈標高707m〉

◎岩村田検印所(男子95.2km)〈標高686m〉◎

強行遠足は二回始まる…。

一度目は号砲が鳴り響いた瞬間(男子90.7km)〈標高666m〉◎

二度目は己の弱さに向き合い、検印所(男子85.8km)〈標高711m〉◎

それを乗り越えようと決意した瞬間。

(3年男子)



◎佐久穂検印所(男子71.8km)〈標高718m〉

◎女子最終地点(小海町総合センター)
小海検印所(男子72.6km)〈女子41.6km〉〈標高901m〉

◎松原湖給水所(男子68.8km)〈女子37.8km〉〈標高984m〉

甲府第一高等学校

強行遠足特集

～令和6年10月5日(土)・6日(日)実施 第96回強行遠足 体験文より～



休んだらもう動けなくなるかもしれない…。

検印所でも給水所でも座れなかった。辛かった。

足の激痛に耐えかねて涙が出ることもあった。

それでも止めない。

◎小諸を見て帰ると決めていたから…。

(1年男子)

自分でゴールを決めて、

それに向かって自分なりの進み方をする。

それがこれから生きていく上で
とても重要になってくる。

今後の人生は強行遠足よりも
つらいことがいくつも待ち受けているのだ。

(2年女子)

なぜ、この行事が百年経った令和六年度まで生き続けているのか？

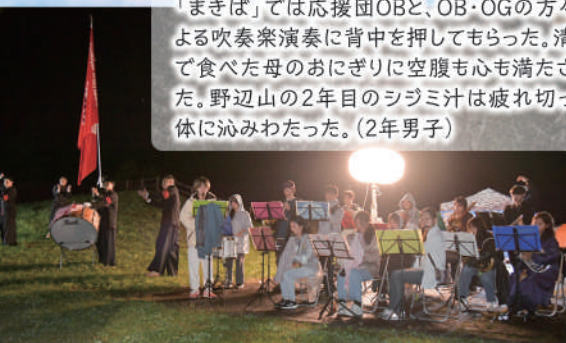
三年目にして理解することができた。(3年男子)



「まきば」では応援団OBと、OB・OGの方々による吹奏楽演奏に背中を押してもらった。清里で食べた母のおにぎりに空腹も心も満たされた。野辺山の2年目のシジミ汁は疲れ切った体に沁みわたった。(2年男子)



30km超えると、自分に負けそうになることが増えてくる。絶対諦めない、最後までやり切りたい…強い思いが本当に大事だと思った。(1年女子)



僕は雨の恐ろしさを知った。野辺山から市場へ…真夜中雨が降った。防寒着があっても体温は奪われ身体がぶるぶる震えた。(3年男子)



今までの行程を振り返る。たくさんの人の温かい声援、友達の数えきれない声かけを思い出すと泣きそうになった。ついに小海。友達と歩んだ41kmは一生忘れない。(2年女子)



三年間完走できた経験は、私にとって一生の宝物です。これから大きな困難に直面しても乗り越えられる。そう思わせてくれました。(3年女子)

家に帰って親の顔を見たとき私は号泣しました。松原湖で親の顔を見たかった…。最後の強行遠足を良い形で終わらせたかった気持ちでとても悔しかった。三年間の強行遠足を体験して、成功も失敗も喜びも悲しみもすべて学べて成長できました。(3年男子)



足・膝の痛みとの本格的な戦いが始まった。それでも完走したかった。「松原湖」到着時に日の出となり、空が青くなってきた。感動した。こんな体験今しかできない。そう思った。(2年男子)



仲間が一緒だからゴールできた？私が独りだったらどうだったのだろう？独りでも戦えるのか？自分に問うてみる。(2年女子)

時は過ぎる…ただ歩く…。「私が私を諦めてはいけない」

長い時間、ただただ一人自分と向き合って対話して出した結論。

(2年女子)

山梨県立甲府第一高等学校

〒400-0007 山梨県甲府市美咲2-13-44 TEL:055-253-3525 FAX:055-253-3527 URL <http://www.first.kai.ed.jp/>

